

軽米病院だより

広報かるまいでの発信

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

「軽米病院だより」を2カ月に一度担当しています。今までお伝えしたことを、現状を踏まえながら振り返ってみました。

軽米町ホームページの「広報かるまい」から過去の記事を見ることができます。今後も、皆さんの為になる情報を発信していきます。

▶R7.2「5類になったとはいえ」：インフルエンザよりコロナの方が10倍以上も死亡率が高く、特に80歳以上は顕著です

▶R6.12「健康保険証の話」：健康保険証の新規発行が12月2日で終了し、今持っている保険証は最長1年間は有効。今後は資格確認書やマイナ保険証に変わります

▶R6.10「救急車有料化の話」：三重県松坂市

で始まり、値段は7700円。岩手はまだですが、その後茨城県でも開始されました。二戸圏域での救急車利用状況は多数にのぼり、パンク寸前です

▶R6.8「レスパイト入院の話」：自宅で介護されている方で、介護者が疲れてきた時に病院への入院が可能になりました

▶R6.6「ACPって何?」：アドバンス・ケア・プランニング。人生最終段階に向けてご家族で話し合いをしてほしいです。人間の死亡率は100%です

▶R6.4「病院の得手・不得手」：二戸、一戸、軽米の各県立病院の特徴について触れました。二戸でも大きな事故には対処できず、救急センターの久慈でも、今では脳血管疾患は全て八戸へ搬送するようになりました

▶R6.2「災害派遣医療チームについて」：一昨年は能登の大地震でしたが、今は大船渡へ各病院から応援が出ています